

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等					
事業毎の通番		14	市町村名	坂城町	箇所名(ふりがな)	胡桃沢(くるみさわ)			
事業概要	事業目的	平成27年6月28日の降雨時、山腹上部から直径2m級の落石があり、下方道路に被害を与えた。現地調査を実施したところ、山腹上部には風化・亀裂の進んだ岩盤が露出しており、また、不安定な浮石も多く、再崩落するおそれが高い。下方には工場及び県道があることから、山腹工(落石予防工)を実施し、不安定な山腹面の安定を図り、下方保全対象の保全を図る。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上(災害に強い森林づくり)		事業実施の根拠法令等	森林法				
	関連する事業、計画等	なし							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	工場2棟、県道100m							
	着手年度	平成28年度	事業期間	2年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完成年度(見込み)	平成29年度	費用対効果	1.78		国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容(主な工種)	山腹工 0.16ha 落石予防工 1,590㎡			74,300	37,150		33,435	3,715	
年度事業内容(主な工種)	山腹工 0.11ha 落石予防工 1,080㎡			50,000	25,000		22,500	2,500	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	工場、県道の保全							
	間接的効果(定量的・定性的)	県道利用者の安全・安心の確保							
評価の視点	必要性	○人家戸数:	2戸	工場	評価	B			
		○公共施設数:	1ヶ所	県道					
	○災害時要援護者関連施設の有無:	なし			評価	A			
	○保安林・林業用施設:	あり	70%(指定手続き中)						
	重要性	○過去の災害履歴:	あり	H27.6.28 落石災		評価	A		
		○交通遮断による地域経済への影響:	影響度大	下方に県道77号線あり					
○地域防災計画上の位置付け:		あり	胡桃沢下方域の人家等の防災計画あり						
効率性	○費用便益比(B/C):	1.78			評価	A			
	○事業期間:	2年間	(H28~H29)						
	○工法等の比較検討:	あり	落石対策工の工法検討						
	○流域の総合調整:	あり	治山事業で実施						
緊急性	○流域の地形、地質:	第3紀層泥岩・砂岩			評価	A			
	○平均渓床勾配(平均山腹勾配):	平均山腹勾配35°							
	○下流の堰堤等の整備状況:	なし							
	○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域:	山腹崩壊521-22(A)							
計画熟度	○事業情報の共有:	坂城町役場担当と現地打合せ			評価	B			
	○地域の取り組み:	町からの要望箇所							
	○地域の合意形成:	町議会議員、地元住民と現地立会いを実施し、合意済み							
	○住民との協働:	住民による工事用地賃与予定							
部意見	平成27年6月に落石が発生し、下方道路が被災した。調査の結果、不安定な転石や岩石群が判明したため、対策工を行う必要がある	行政改革課意見	斜面には風化が進んだ岩盤が露出し、不安定な浮石が存在している。保全対象には県道、工場2棟があることから、重要性が高く、緊急性も認められる。	評価結果	○	総合評価	A		

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	
		
事業概要説明図表		
		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地域の地質は、第三紀層泥岩砂岩であり、山腹直下には工場及び県道がある。山腹上部より、過去度々落石があったが、平成27年6月28日に直径2m級の落石があった。現地調査を実施したところ、山腹上部には風化・亀裂の進んだ岩盤が露出しており、また、不安定な浮石も多く、再崩落するおそれが高い状況である。
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成27年6月30日に坂城町担当者と現地調査を実施し、事業要望を受ける。 平成27年7月13日に町議会議員、地元住民と現地立会いを実施。
	③事業説明等の経緯	平成27年7月13日、現地立会いの際、町議会議員、地元住民に計画概要を説明。
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	-
	⑥地域活性化への影響と配慮	治山事業施工により、保全対象(工場・県道)を保全し、下方住民の安全・安心を図る。
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36.25.17.7 東経:E 138.10.47.2